

< 24-09 >

2024年4月

先生各位

「活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) の現行試薬の販売中止に伴い、測定試薬を変更させていただきます。つきましては、基準範囲の変更をいたします。

何卒、ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■検査内容変更項目:

活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

[項目コード:556]

■変更内容:

	新	現
測定試薬	レボヘムAPTT-SLA	トロンボチェックAPTT-SLA
基準値・単位	23.4 ~ 36.0・秒	23.5 ~ 42.5・秒

※検査方法及び報告内容等に変更はございません。

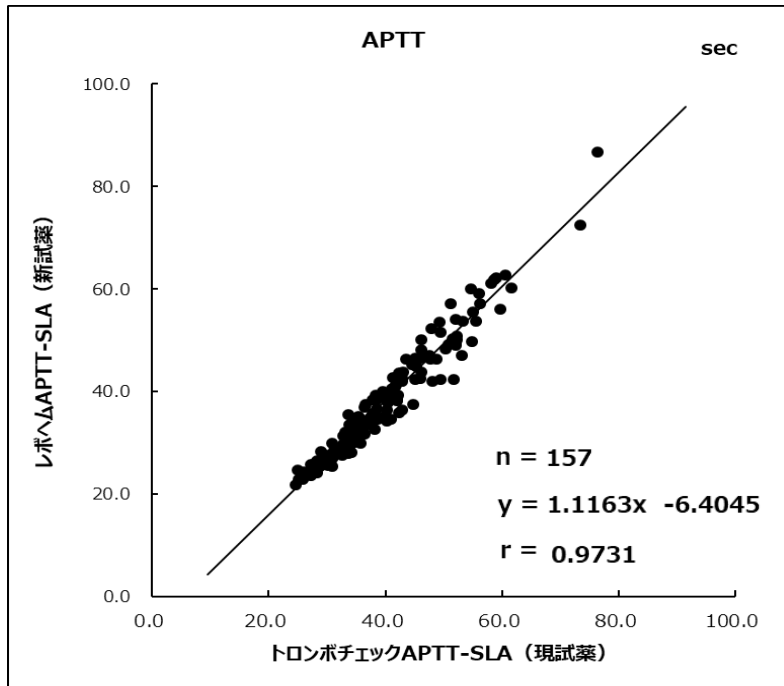
■変更実施日:

2024年 5月 20日 (月) 受付分より

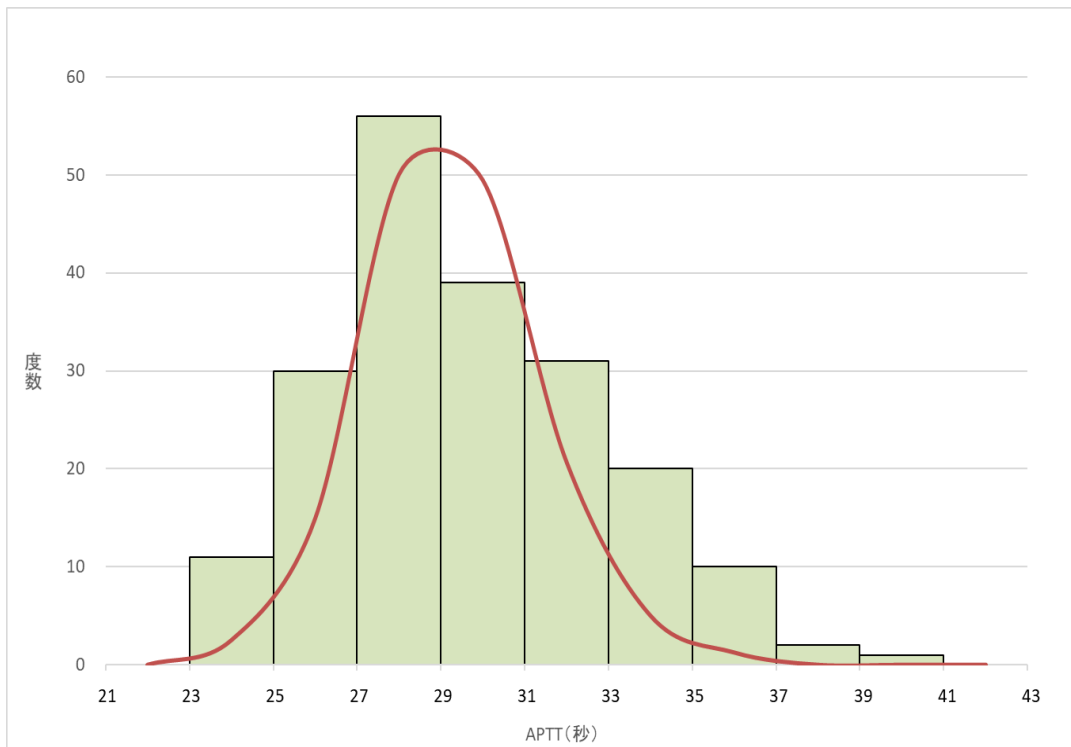
以上

●活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

<新試薬と現試薬の比較>



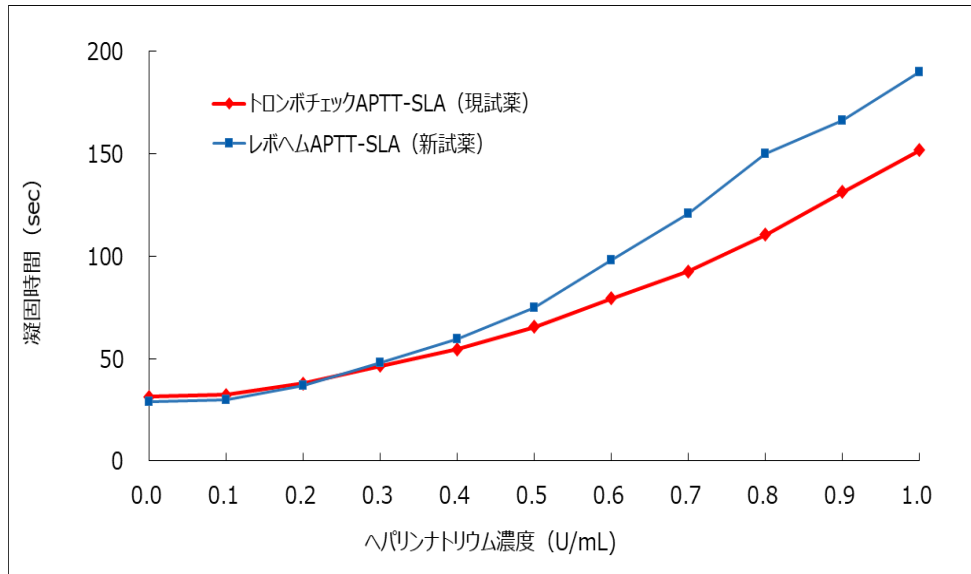
<基準範囲の設定について>



基準範囲: 23.4~36.0 秒

(※健常者ボランティア 200 検体を使用)

＜未分画ヘパリンの反応性(未分画ヘパリン添加実験)＞



未分画ヘパリン濃度		0.6 U/mL	0.9 U/mL
ヘパリン未添加に対する凝固時間のratio	新	3.4倍	5.8倍
	現	2.5倍	4.2倍

※新試薬が現試薬に比べて未分画ヘパリンへの感受性が高くなり、特に50.0秒以上から延長傾向が強くなります。